

留学生と研究ディスカッションin東京大学

私達ヴェリタスⅡ2DⅠⅠ班は2月5日に東京大学に伺い、伊藤昌毅研究室准教授の伊藤昌毅先生と、研究室に来ている留学生を相手に、自分たちの研究についての発表とディスカッションを行いました。

なぜ東大で留学生とディスカッション？

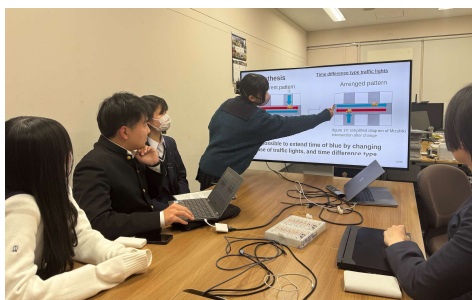
私達は自分たちの研究の手法において「交通シミュレーターSUMO」を用いたいと考えていたのですが、使い方がわからず困っていました。そんなときにYouTubeで伊藤昌毅先生のSUMOの使い方についての講義動画を見つけ、直接教えていただきたいと思いメールを送りました。

その後丁寧な返信をいただき、伊藤先生から直接教えていただけることになり、数回オンラインでご指導していただきました。東京大学にも伺って、直接使い方を説明していただくこともありました。SUMOの使い方にとどまらず、発表スライドや自分たちの研究手法をよりわかりやすく伝えられるようなプレゼン方法についてもご指導していただきました。

ご指導いただいたことへのお礼を伝えるために伊藤先生に直接伺うご相談をした際、今回の留学生への発表&ディスカッションを企画していただくことになりました。

当日！

伊藤先生の研究室の留学生の方に自分たちの研究を発表し、さらに研究についてディスカッションを行いました。お互いいろんなことを質問し合いました。もちろん全て英語でした！



交流を終えて

交通やシミュレーターを専門とする方と話す機会はなかなかなかったので、専門的な視点からの意見をいただくことができて、大変勉強になりました。英語で専門的なディスカッションをするということや、留学生ととても近い距離で交流ができたことは貴重な経験となりました。キャリアについても伊藤先生や留学生の方とお話しすることが出来て、将来に対する考えを深めることができたのも大きな収穫となりました。伊藤先生、本当にありがとうございました！